

令和6年11月18日

交通事故概況

令和6年10月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(10月末計上数(確定数))

1 令和6年10月末の交通事故発生状況

区分\内容	10月中		10月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	812	-58	7,143	-120
死者数(人)	4	-11	85	-19
傷者数(人)	948	-45	8,450	-13

[過去10年、10月中10月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
10月中死者	16	19	19	16	10	21	11	12	13	15	15	14	4
10月末死者	144	151	122	122	114	125	115	95	96	104	119	107	85
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別(10月中)

順位	1	2	3	4	27
都道府県名	愛知	東京	兵庫	神奈川	北海道
死者数	14	13	12	11	4

都道府県別(10月末)

順位	1	2	3	4	5	7
都道府県名	東京	愛知	千葉	大阪	神奈川	北海道
死者数	116	115	108	97	89	85

(1) 10月中の死亡事故(死者4人)

- 事故類型別：人対車両が2人(50.0%)
- 道路別：国道、道道、市町村道が各々1人(25.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、市街地直線が各々2人(50.0%)
- 発生時間別：6～8時、8～10時、20～22時、22～24時が各々1人(25.0%)
- 第一当事者年齢別(1当原付以上)：高齢運転者が2人(50.0%)
- 第一当事者違反別(1当原付以上)：一時不停止、操作不適、前方不注意、安全速度が各々1人(25.0%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が3人(75.0%)

(2) 10月末の死亡事故(死者85人)

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が28人32.9%(うち前方不注意が11人39.3%、最高速度、歩行者妨害が各々3人10.7%)
 - ・ 車両単独が25人29.4%(うち前方不注意が11人44.0%、操作不適が5人20.0%)
 - ・ 正面衝突が16人18.8%(うち前方不注意が7人43.8%、過労運転によるものが3人18.8%)
- 道路別：
 - ・ 国道が31人36.5%(うち車両単独が9人29.0%、人対車両が8人25.8%)
 - ・ 道道が24人28.2%(うち人対車両が9人37.5%、正面衝突、車両単独が各々6人25.0%)
 - ・ 市町村道20人23.5%(うち人対車両が10人50.0%、車両単独が5人25.0%)
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が27人31.8%(うち前方不注意が6人22.2%、信号無視が4人14.8%)
 - ・ 非市街地直線が20人23.5%(うち前方不注意が9人45.0%、最高速度が3人15.0%)
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が12人14.1%(うち車両単独が6人50.0%、人対車両、出会い頭が各々3人25.0%)
 - ・ 10～12時が12人14.1%(うち正面衝突、車両単独が各々4人33.3%)
 - ・ 12～14時が12人14.1%(うち車両単独が6人50.0%、正面衝突が3人25.0%)
- 第一当事者年齢別(1当原付以上)：
 - ・ 高齢運転者による死者が33人38.8%(うち車両単独が16人48.5%、人対車両が7人21.2%)
 - ・ 50歳代運転者による死者が13人15.3%(うち人対車両、正面衝突、車両単独が各々3人23.1%)
- 第一当事者違反別(1当原付以上)：
 - ・ 前方不注意が32人37.6%(うち人対車両、車両単独が各々11人34.4%)
 - ・ 最高速度が9人10.6%(人対車両、車両単独が各々3人33.3%)
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が49人57.6%(うち人対車両が20人40.8%、車両単独17人34.7%)
 - ・ 50歳代の死者が13人15.3%(うち人対車両、車両単独が各々3人23.1%)
- シートベルト非着用者：

自動車(二輪を除く)乗車中の死者41人中、シートベルト非着用者は13人(31.7%)であり、うち6人(46.2%)は、シートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

10月中の死者数は、札幌方面が2人(50.0%)、旭川方面が2人(50.0%)となっている。

10月末の死者数は、札幌方面が44人(51.8%)、釧路方面が17人(20.0%)、旭川方面が13人(15.3%)、北見方面が7人(8.2%)、函館方面が4人(4.7%)となっている。

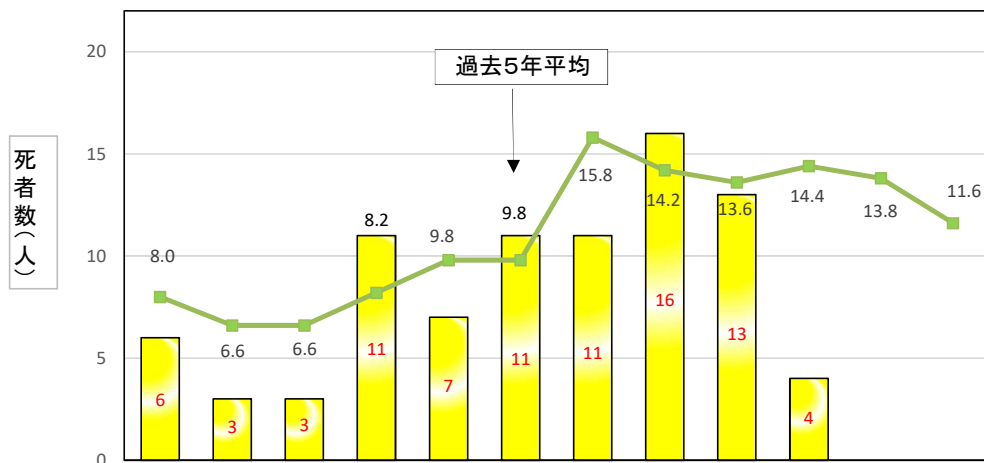
10月中	方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数	
		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
	全道	812	-58	4	-11	948	-45
	札幌方面	580	-72	2	-4	672	-71
	函館方面	50	-5		-2	65	1
	旭川方面	76	13	2		88	13
	釧路方面	81	12		-4	89	13
	北見方面	25	-6		-1	34	-1

10月末	方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数	
		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
	全道	7,143	-120	85	-19	8,450	-13
	札幌方面	5,266	-94	44	-7	6,259	31
	函館方面	443	-14	4	-6	541	-8
	旭川方面	607	58	13	-2	714	69
	釧路方面	650	-46	17	-3	720	-74
	北見方面	177	-24	7	-1	216	-31

(4) 月別発生状況の推移

10月中の死者数は4人で過去5年平均14.4人を下回っている。

10月末の死者数は85人で過去5年平均107.0人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3	3	11	7	11	11	16	13	4			85
年間累計	6	9	12	23	30	41	52	68	81	85			
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(5) 都道府県別死者数

10月中は愛知県が14人で最も多く、次いで東京都が13人、兵庫県が12人、神奈川県、茨城県が各々11人で、北海道は4人で27位となっている。

10月末は東京都が116人で最も多く、次いで愛知県が115人、千葉県が108人、大阪府が97人、神奈川県が89人、北海道は85人で7位となっている。

区分\都道府県	愛知	東京	兵庫	神奈川	茨城	千葉	大阪	埼玉	熊本	栃木	全国	北海道
10月中死者数	14	13	12	11	11	10	9	9	9	9	252	4
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	7	7	7	-	27
前年比	-3	1	2	-8	1	-2	3	-3	3	2	0	-11
増減率(%)	-17.6	8.3	20.0	-42.1	10.0	-16.7	50.0	-25.0	50.0	28.6	0.0	-73.3

区分\都道府県	東京	愛知	千葉	大阪	神奈川	兵庫	北海道	埼玉	茨城	福岡	全国
10月末死者数	116	115	108	97	89	86	85	84	76	75	2,128
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-
前年比	13	-8	12	-20	-7	8	-19	-8	-3	-5	4
増減率(%)	12.6	-6.5	12.5	-17.1	-7.3	10.3	-18.3	-8.7	-3.8	-6.3	0.2

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が31人(36.5%)、道道が24人(28.2%)、市町村道が20人(23.5%)となっている。

- ・ 国道は非市街地カーブが9人(29.0%)、市街地交差点が8人(25.8%)
- ・ 道道は市街地交差点、非市街地直線が各々9人(37.5%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が9人(45.0%)、非市街地カーブが4人(20.0%)

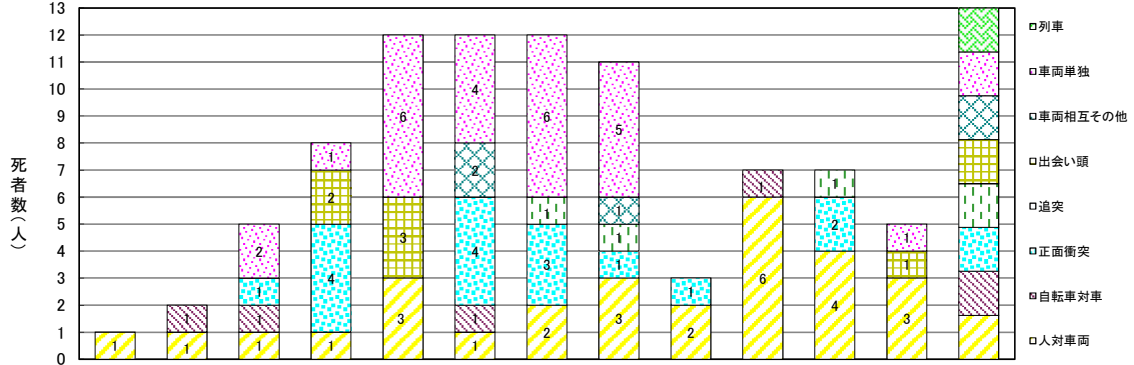


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	31	24	20	4	6	85
構成率(%)	36.5	28.2	23.5	4.7	7.1	100.0
過去5年構成率	40.4	21.8	30.1	2.0	5.7	100.0

(2) 時間別

8～10時、10～12時、12時～14時が各々12人(14.1%)となっている。

- ・ 8～10時は車両単独が6人(50.0%)、人対車両、出会い頭が各々3人(25.0%)
- ・ 10～12時は正面衝突、車両単独が各々4人(33.3%)
- ・ 12～14時は車両単独が6人(50.0%)、正面衝突が3人(25.0%)

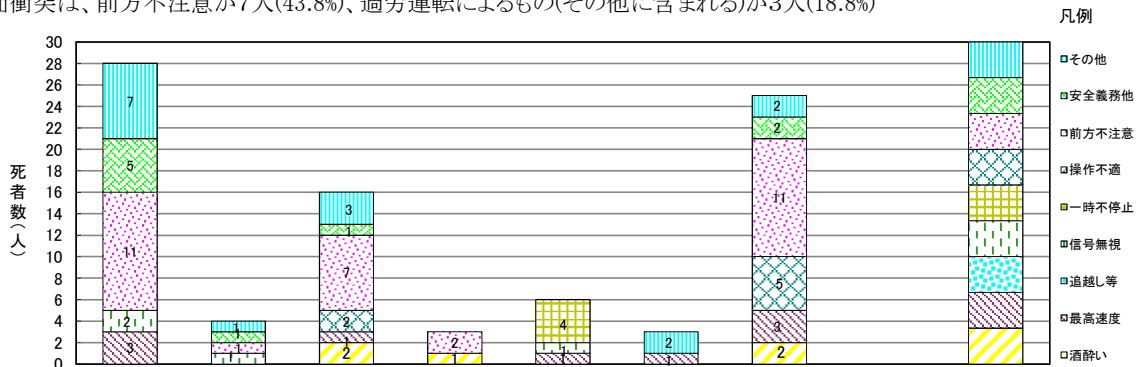


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	1	2	5	8	12	12	12	11	3	7	7	5	85
構成率(%)	1.2	2.4	5.9	9.4	14.1	14.1	14.1	12.9	3.5	8.2	8.2	5.9	100.0
過去5年構成率	3.8	2.4	4.0	7.5	10.7	15.6	13.5	13.9	8.3	8.5	6.7	5.1	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が28人(32.9%)、車両単独が25人(29.4%)、正面衝突が16人(18.8%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が11人(39.3%)、最高速度、歩行者妨害(その他に含まれる)が各々3人(10.7%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が11人(44.0%)、操作不適が5人(20.0%)
- ・ 正面衝突は、前方不注意が7人(43.8%)、過労運転によるもの(その他に含まれる)が3人(18.8%)



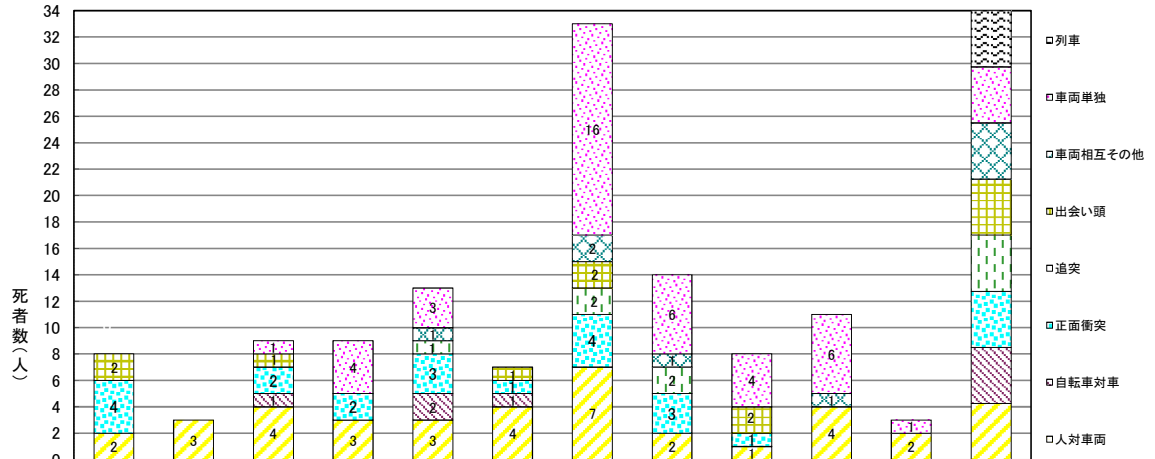
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	28	4	16	3	6	3	25	85	
構成率(%)	32.9	4.7	18.8	3.5	7.1	3.5	29.4	100.0	
過去5年構成率	28.5	5.5	19.2	2.2	8.9	3.2	32.1	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別 (第1当原付以上)

高齢運転者による死者が33人(38.8%)、50歳代運転手による死者が13人(15.3%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が16人(48.5%)、人対車両が7人(21.2%)
- ・ 50歳代運転者は、人対車両、正面衝突、車両単独が各々3人(23.1%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	8	3	9	9	13	7	33	14	8	11	3	85
構成率(%)	9.4	3.5	10.6	10.6	15.3	8.2	38.8	16.5	9.4	12.9	3.5	100.0
過去5年構成率	10.1	3.2	7.5	16.6	14.7	8.9	34.1	10.7	8.5	14.9	4.8	100.0

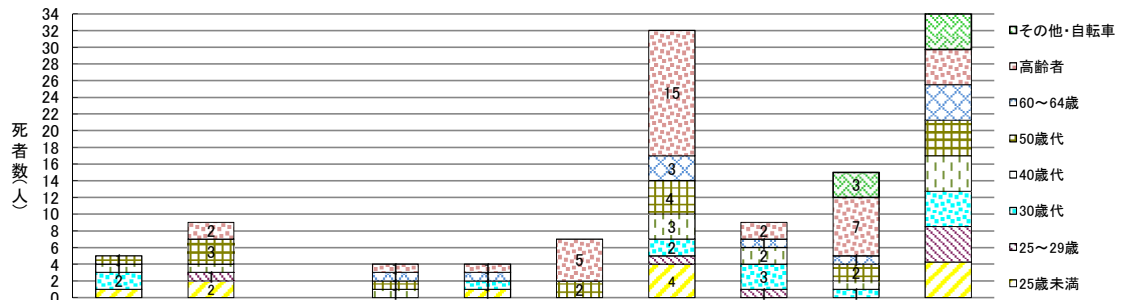
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別 (第1当原付以上)

前方不注意によるものが32人(37.6%)、次いで最高速度が9人(10.6%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者が15人(46.9%)、若年運転者(25歳未満)、50歳代運転者による死者が各々4人(12.5%)
- ・ 最高速度は、50歳代運転者が3人(33.3%)、若年運転者(25歳未満)、高齢運転者による死者が各々2人(22.2%)

凡例



区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計	
						操作不適	前方不注意	その他			
死者数	5	9		4	4	7	32	9	15	85	
構成率(%)	5.9	10.6		4.7	4.7	8.2	37.6	10.6	17.6	100.0	
過去5年構成率		1.6		12.9	6.3	4.0	1.6	9.3	37.0	27.3	100.0

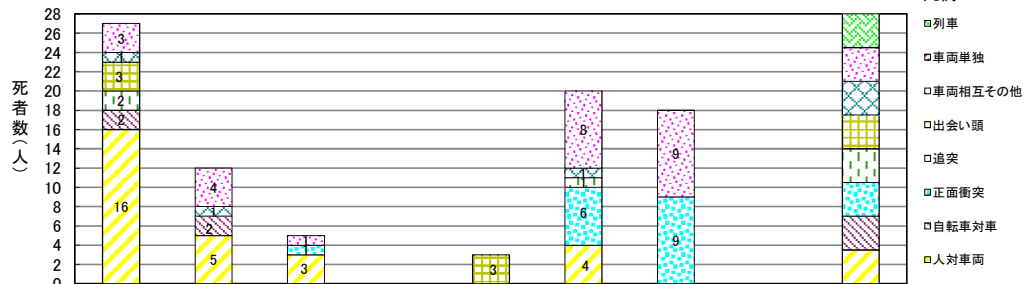
注 「その他」に1当自転車、歩行者を含を含む。

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が27人(31.8%)、次いで非市街地直線が20人(23.5%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が16人(59.3%)、出会い頭、車両単独が各々3人(11.1%)
- ・ 非市街地直線は、車両単独が8人(40.0%)、正面衝突が6人(30.0%)

凡例

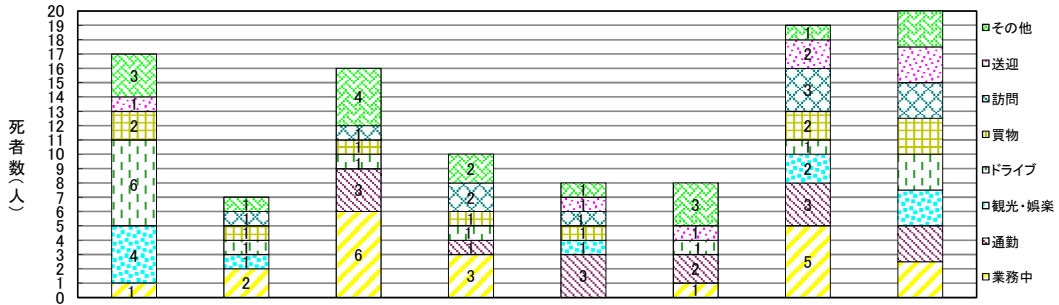


地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	27	12	5	44	3	20	18	41	85
構成率(%)	31.8	14.1	5.9	51.8	3.5	23.5	21.2	48.2	100.0
過去5年構成率	30.3	14.7	4.8	49.9	6.3	21.8	22.0	50.1	100.0

(7) 曜日別

土曜日が19人(22.4%)、次いで日曜日が17人(20.0%)となっている。
 ・土曜日は、業務中が5人(26.3%)、通勤、訪問が各々3人(15.8%)
 ・日曜日は、ドライブが6人(35.3%)、観光・娯楽が4人(23.5%)

凡例

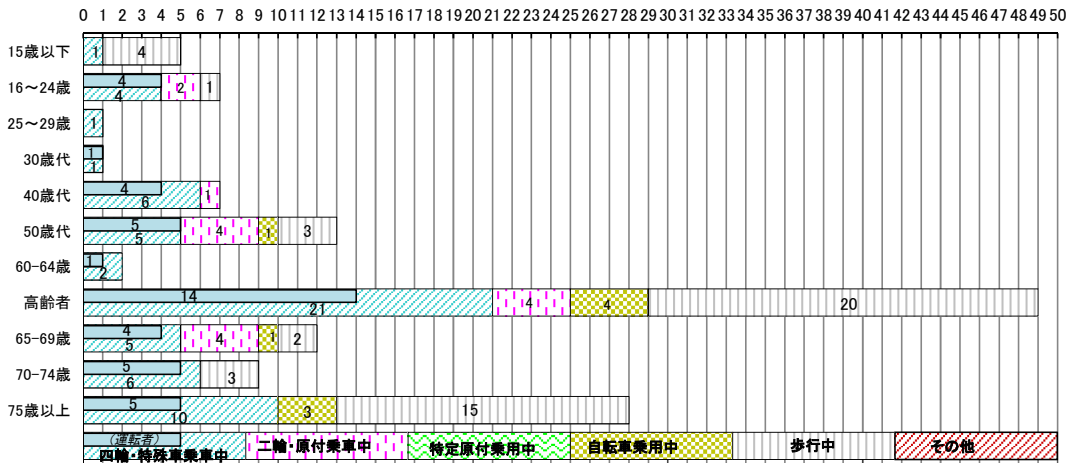


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	17	7	16	10	8	8	19	85
構成率 (%)	20.0	8.2	18.8	11.8	9.4	9.4	22.4	100.0
過去5年構成率	20.0	12.7	14.3	12.5	13.5	12.7	14.1	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が49人(57.6%)、次いで50歳代が13人(15.3%)となっている。
 四輪乗車中の死者数が41人(48.2%)、次いで歩行中の死者数が28人(32.9%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別\		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	死者数	1						
16~24歳	死者数	4	2			1		7	8.2	7.3
25~29歳	死者数	1						1	1.2	2.4
30歳代	死者数	1						1	1.2	5.7
40歳代	死者数	6	1					7	8.2	9.7
50歳代	死者数	5	4		1	3		13	15.3	13.5
60~64歳	死者数	2						2	2.4	6.7
高齢者	死者数	21	4		4	20		49	57.6	52.1
65~69歳	死者数	5	4		1	2		12	14.1	10.1
70~74歳	死者数	6				3		9	10.6	10.5
75歳以上	死者数	10			3	15		28	32.9	31.5
計	死者数	41	11		5	28		85	100.0	
	構成率	48.2	12.9		5.9	32.9		100.0		
	過去5年構成率	47.7	16.2		6.9	28.9	0.4	100.0		

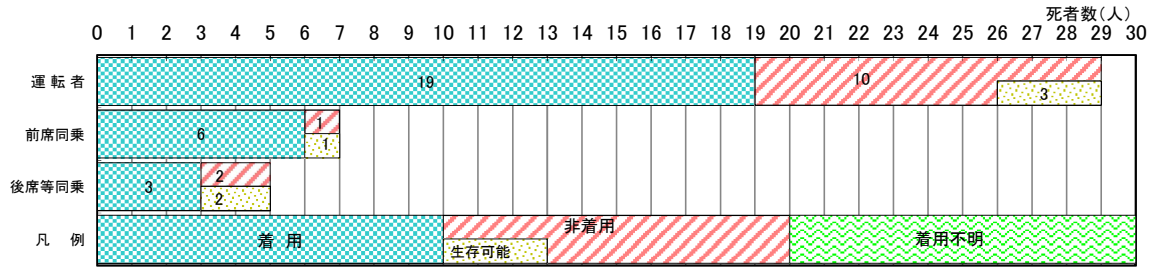
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者41人中、シートベルト非着用者は13人(31.7%)となっている。

非着用者のうち6人(46.2%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中	着用				非着用				着用不明		
		計	運転者	同乗者(助手席)	同乗者(後部席)	計	運転者(生存可)	同乗者(助手席)(生存可)	同乗者(後部席)(生存可)			
令和6年	41	28	19	6	3	13	10	3	1	1	2	2
構成率(%)	100.0	68.3	67.9	21.4	10.7	31.7	76.9	30.0	7.7	100.0	15.4	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が6人(46.2%)、40歳代が3人(23.1%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用	4	1		3	3	2	15	4	6	5		28
構成率(%)	14.3	3.6		10.7	10.7	7.1	53.6	14.3	21.4	17.9		100.0
ヘルト非着用	1		1	3	2		6	1		5		13
構成率(%)	7.7		7.7	23.1	15.4		46.2	7.7		38.5		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者13人の損傷加害部位をみると天井、座席が各々2人(15.4%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ヘルト着用		1	2	1		1	2	2	3	8	6	2	28
構成率(%)		3.6	7.1	3.6		3.6	7.1	7.1	10.7	28.6	21.4	7.1	100.0
ヘルト非着用	1		1	1			1	2	2	1		4	13
構成率(%)	7.7		7.7	7.7			7.7	15.4	15.4	7.7		30.8	100.0
運転者	1		1	1				2		1		4	10
構成率(%)	7.7		7.7	7.7				15.4		7.7		30.8	76.9
同乗者							1		2				3
構成率(%)							7.7		15.4				23.1

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用者の合計数に対する割合。